令和３年度　森林環境譲与税の使途内訳

市町村名	事業区分	事業名	事業総額（千円）			事業内容	実績	税導入の効果
				うち令和元年度の森林環境譲与税（千円）	うち他の財源（千円）			
瀬戸内町	意向調査の準備作業	森林環境譲与税事業	73			森林調査に係る及びＧＰＳ機能付きカメラの購入	森林の現況調査実施面積（10ha）	・本町の人工林率は1.6%となっており，スギ・ヒノキの占める割合は極めて低い状況であることから，本税を活用し有用樹種の選定及び利用促進・林業振興の発展に寄与することとして取り組んでいる。
瀬戸内町	森林・林業・木材普及活動等	森林環境譲与税事業	850			地元産材を活用した木工体験学習(集落名木製看板)を小中学生を対象として実施。制作した看板を設置することで木材普及活動を行う	参加者数　72名 木材使用量　1.8㎥	・児童，職員及び保護者総勢72人を対象に奄美産材リュウキュウマツを使用した木製看板製作（8枚）を実施した。 　地球温暖化対策としての森林学習や木材利用の促進につなげることができた。
瀬戸内町	木造公共建築物の整備等	森林環境譲与税事業	1,980			庁舎内の一部を木製パーテンションで区切り，地元産木製テーブルを設置。 「木のぬくもり会議室」として木質化を図る	木材使用量　2.02㎥	・庁舎の一部を木質化することで，木材普及につなげた。
瀬戸内町	基金積立（木材利用等）		1,046			公共施設の木質化に充てるための積み立て	木材使用量　2.08㎥	